



もがみ創生「北のゲートウェイプロジェクト」検討会 発足!



5月28日、ニューグランドホテルにて、最上地域全体のゲートウェイとなる「道の駅」の検討を進めていくため、『もがみ創生「北のゲートウェイプロジェクト」検討会』が開催されました。

最上管内各市町村長や経済界の各代表らが出席し、検討会の設置について満場一致で了承されました。

検討会の冒頭、角湯県土整備部長は、昨年4月にオープンした「道の駅米沢」が、1周年を過ぎた5月に来場者200万人に達し、予想を大幅に超える賑わいをみせており、最上地域においても南の「道の駅米沢」に続く北のゲートウェイとなる「道の駅」の整備を進めなくてはならないと述べました。会長に就任した須藤最上総合支庁長を座

長とした意見交換では、新しい道の駅への期待や運営面の課題、若者が集える場が欲しいなどの意見が出されました。

また、4月下旬から順次、真室川町や舟形町、鮭川村において高速道路の活用についての検討会が開催されており、ゲートウェイとなる「道の駅」の必要性について意見が出されていることが報告されました。今後も各機関による議論を進め、次回の検討会へつなげていきます。

県では、地域内の様々な観光・地域情報を発信し、管内の隅々に県外からの来訪者を導くゲートウェイとなる「道の駅」の整備について、市町村の取組みをしっかりと支援してまいります。 [建設総務課 29-1391]



全国トップクラスの新工場 (株)ヤマムラ

新庄中核工業団地に本社を置く株式会社ヤマムラにおいて、大径材[※]を加工する新製材工場の竣工披露式典が開かれ、県や設備関係者、工事関係者など約70名が出席しました。この新工場は、地域材の供給体制を強化する目的で、県が窓口となり国からの補助金の採択を受けて整備されたものです。来賓として出席した須藤最上総合支庁長は、「貴社の取組みを通し、本県の木材産業の牽引役となることを期待しています。」と祝辞を述べました。



※大径材…丸太で最小径が30cm以上のもの



新工場とスギ長尺材(長さ9.5m)

新工場は、長さ9.5m、幅45cmまでの長尺材の生産が可能で、中・大規模木造建築に対して品質の確かな「やまがたの木」を安定的に供給することができるようになります。今年中にJAS認定の取得を目指しており、認定を取得すると、全国トップクラスの大径材の製材工場となり、県内はもとより、新たに県外からの製品受注も見込まれます。

新庄中核工業団地には、近年大型集成材工場や木質バイオマス発電所が整備されています。新しい製材工場が本格稼働することにより、良質材から低質材まで森林資源を余すことなく有効活用できるようになり、「やまがた森林ノミクス」の推進につながることが期待されます。

[森林整備課 29-1351]

きれいな最上小国川のために！～集中クリーンアップ大作戦～

5月8日から9日にかけて、『最上小国川集中クリーンアップ大作戦』と銘打って、最上小国川の最上町赤倉地区から舟形町富長橋付近までの区間の河川大規模清掃を初めて実施しました。昨年2度にわたって最上地域を襲った大雨により、川岸に例年になく大量の漂着ごみがあります。こうした状況から、最上小国川の機能の回復とイメージアップを図るため、県が「最上小国川清流未来振興機構」の一員として、山形県建設業協会最上支部に協力を働きかけたところ、2日間で25社、延べ80名もの方々にご参加いただき、プラスチックやビニール等のごみ、合計32トン回収することができました。

7月27日（土）には、このきれいな最上小国川を会場に、高校生を対象とした『第2回最上小国川鮎釣り甲子園大会』を開催します。お楽しみに！



ほのかカチは∞もモチーフになっているんだ☆のおさかな ver.だと
わかりやすいよね！最上の可能性は無敵大！



【連携支援室 29-1240】

不法投棄ゼロを目指して

県では5月1日から6月5日までを「不法投棄及び海岸漂着ごみ削減強化月間」とし、不法投棄防止の啓発活動や監視などを集中的に実施しています。

今年も5月8日に不法投棄パトロールの出発式を行い、管内市町村をくまなくパトロールしたところ、転居により残された家財道具や、崖地に投棄された肥料袋に入った家庭ごみなどの不法投棄を確認しました。現在、投棄者、土地所有者の調査等を行っており、今後、関係機関と協力して不法投棄された廃棄物の撤去指導や回収作業を行います。

最上の豊かな自然風土は地域の宝です。関係機関が連携して監視を強化し、不法投棄ゼロを目指していきます！



【環境課 29-1287】

見～つけた！身近な自然

地元住民と小学校、土地改良区、市、県で組織する野中・中川原地区イバラトミヨ保全協議会では、新庄市立北辰小学校の4年生を対象に、イバラトミヨを核とした環境学習会を年に4回開催しています。



春の塾では、保全池の観察やイバラトミヨの採捕を行い、イバラトミヨの生態や生息環境について学びました。児童からは「草の下に隠れていた」「オスが巣を作って卵を守ることがわかった」などの感想があり、身近な環境への関心が高まりました。



【農村計画課 29-1342】

アレンジにも！りんどう苗配布

県の園芸試験場で育成しているりんどうのオリジナル品種「ハynes」シリーズは、仏花だけでなくアレンジにも使えると市場から高評価を受け、作付けが増加しています。県内生産者



「ハynes」シリーズ

で組織する「山形県りんどう生産研究会」では本種を育苗して会員に販売しています。

育苗を担っている鮭川村の熊谷園芸で、約2万本の苗の配布が5月15日から始まりました。この苗は6月上旬にかけて県内各地で定植され、来年以降に出荷されます。

【農業技術普及課 29-1333】



「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰



5月18日に鳥取県鳥取市で開催された第30回全国「みどりの愛護」のつどいにおいて、下山屋地区（新庄市金沢、代表 星川威雄氏）が「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受賞しました。

下山屋地区は、県の「ふれあいの道路愛護事業」（前「山形県マイロードサポート事業」。令和元年度から名称変更）のマイロードサポーターとして県道脇の清掃や草刈の他、特に道路に隣接する花壇への植栽に積極的に取り組んでおり、その功績が讃えられ、このたび受賞の運びとなりました。これからも、きれいな花々を多くの方に見せていただけるよう、期待しています。



【建設総務課 29-1391】

若者の地元定着&地元回帰に向けて

5月28日、ニューグランドホテルにて、今年度第1回目のオールもがみ若者定着・人材確保推進会議を開催しました。経済界や行政機関、教育機関、そして保護者の方など70名を超える方々にご参加いただきました。会議では、冒頭、須藤最上総合支庁長が「オールもがみ」による今年度の主な取組みについて説明し、若者の地元定着のみならず、地域外へ進学した若者の地元回帰にもつなげることを関係者で共有しました。

その後、大正大学地域構想研究所の浦崎太郎教授から「若者定着・回帰は大人への親近感から」と題してご講演いただき、若者定着に向けた最上地域のポテンシャルの高さなどのお話をお聞きしました。



続いて、ハローワーク新庄、高校、各自治体、最上総合支庁等から、新庄商工会議所をはじめとする経済団体等に対して新規学校卒業者求人の早期提出の要請を行いました。また、「オールもがみ」ならではの新しいスタイルの求人活動として、企業、教育機関、保護者、若者の立場から4名の方に若者定着に向けた熱い想いを最後に発表いただき、関係者皆で一体となって取り組む決意を新たにしました。

[地域産業経済課 29-1306]

第1回運営委員会を開催！ 新庄・最上ジモト大学の方針を協議しました！

5月17日、新庄市民プラザにて、新庄・最上ジモト大学推進コンソーシアムの推進機関である運営委員会を開催しました。地域の大人と高校生が地域のことを本気で語り、学び、交流するプログラムは、「新庄・最上ジモト大学」の名称でこれまで2年間開催されてきました。会議では、新たな実施体制や運営方針、プログラム数や参加高校生の目標人数等を協議しました。

市町村主催のプログラムだけでなく民間団体から提供されるプログラムも大幅に増えており、東北芸術工科大学の学生とともに地域の課題解決のアイデアを考える「サマーアイデアキャンプ」や、新庄信用金庫主催の地域のお金の循環を学ぶプログラムなども提案されました。



県は事務局として、目標達成のために関係団体と連携・協働し、30プログラムを確保するとともに、ひとつひとつのプログラムの質の向上を図るための勉強会を開催する予定です。

今年度のジモト大学は7月の開校を予定しています。たくさんの高校生の参加をお待ちしております！

[連携支援室 29-1238]

警戒レベル4で全員避難！逃げ遅れゼロへ！

水害・土砂災害の情報の伝え方が変わり、警戒レベルを用いた避難情報が発令されます。市町村から[警戒レベル3, 4]が発令された地域にお住まいの方は、速やかに避難してください。

[防災安全室 29-1209]

			警戒レベル5
		警戒レベル4	すでに発生している災害状況！
警戒レベル1	警戒レベル2	警戒レベル3	全員避難！
心構えを高める (気象庁が発表)	避難行動の確認 (気象庁が発表)	高齢者等は 避難！	命を守る 最善の行動を！ (市町村が発表)
		避難に時間を要する人は避難 (市町村が発表)	安全な場所へ避難！ (市町村が発表)

※【警戒レベル5】は必ず発令されるものではありません。

最上地域の旬の山菜・野菜を召し上がれ!

仙台市AER（5月16日・17日）と、大沼山形本店（24日・25日）において、管内の生産者等が旬の山菜や野菜、農産加工品を販売しました。仙台会場では山菜料理・雪若丸の試食提供やペロリンとのプレゼント付ハイタッチ会、山形会場では最上地域の食品や湯めぐりチケットが当たる抽選会を行うとともに、両会場では観光PR等も行い、たくさんのお客様に最上地域の情報を発信することができました。来場者からは「いい山菜を買えるので毎年楽しみだ」といった声が聞かれ、イベントの定着を感じたところです。今後とも、山菜や野菜等、最上地域の魅力ある農産物や観光情報をPRしてまいります。



[農業振興課 29-1316]

おしらせ

輝きたい女性のための「時間のオーガナイズ講座」 ～時間を整理して、豊かな人生を歩もう!～

日時 6月29日(土) 13:30~15:30
場所 雪の里情報館 情報交流室
講師 ライフオーガナイザー®
奈良崎 由美子氏
参加費 無料
託児 あり(無料・3か月~小学生)
申込 子ども家庭支援課へお問合せください。



[子ども家庭支援課 29-1245]

幻想の森へのガイド付きツアー

大人の休日のCMで話題となった戸沢村の幻想の森。6/1~11/4の土日祝日限定で、ガイド付きのツアーバスが運行(約2時間)されます。是非、この機会にご参加ください。(前日まで予約が必要です。詳細は最上川交通にお問い合わせください。)

【ツアー料金】
大人 2,000円、子ども 1,000円
【企画・実施】
最上川交通(株)旅行部 ☎34-7051



[観光振興室 29-1311]

7月のイベント情報

- 7月13日(土) バザール&夜市
場所 新庄市駅前ふれあい広場アピエス
時間 15時~20時30分
- 7月14日(日) 肘折温泉 開湯祭
場所 大蔵村 肘折温泉街
- 7月26日(金)~9月16日(月) ひじおりの灯
場所 大蔵村 肘折温泉街

[観光振興室 29-1311]

6月分 最上管内献血・骨髄バンク日程

- 6日(木) 農林大学校、(株)新庄エレメックス
 - 15日(土) (株)柿崎工務所本社
 - 16日(日) 真室川町防災センター、真室川町中央公民館
 - 23日(日) 鮭川村役場
 - 24日(月) 新庄徳洲会病院
 - 30日(日) 十二河原河川公園、グリーンバレー神室、ヨークベニマル新庄店、ヨークベニマル新庄下田店
- ※6日は骨髄バンク登録会も開催します! 詳細な時間はお問い合わせください。

[保健企画課 29-1257]

~最上地域みんなで子育て応援団~

MOCO マルシェ

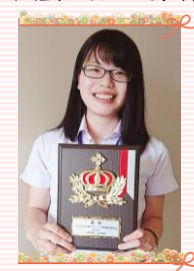
「世界のおもちゃで遊ぼう!」をテーマに、世界のおもちゃで遊べるコーナーや子育てとおもちゃに関する楽しいお話など、親子で楽しめる多彩な内容を取り揃えました。ぜひ、ご家族みなさんでご参加ください。

日時 7月6日(土) 10:00~12:00
場所 ゆめりあ 「花と緑の交流広場」
対象 小学校6年生までのお子さんのいる世帯等
入場料 無料



[子ども家庭支援課 29-1245]

5月11日に天童市で行われた第3回山形県レディース将棋選手権大会において、保健企画課の阿部美



鈴主事が優勝を果たし、同大会3連覇を成し遂げました。おめでとうございます!



発行日: 令和元年6月1日

発行元: 山形県最上総合支庁総務企画部総務課

総合案内窓口

電話: 0233-29-1360 FAX: 0233-23-2605



Twitter



HP

ほくのかた子は、最上のMと、もうひとつモチーフがあるんだよ☆わかるかな?
答えはエコポリス通信のどこかにあるよ~!

